

武漢市における太陽光発電システム 2016贈呈式 報告書

(イオン中国進出 20 周年記念事業)

【概要】

公益財団法人イオン環境財団(以下、当財団)は、再生可能エネルギー活用の啓発・普及および環境について学ぶ教材として役立てていただくことを目的に、中学校への太陽光発電システムの寄贈を2009年から行ってまいりました。

当財団は、本年度は中国武漢市の小学校・中学校合計 5 校へ寄贈いたします。
なお、この事業は在中国日本国大使館が主催する2016年「日中交流集中月間」イベントとしても登録され、またイオングループとの共同開催であるため、イオン中国進出 20 周年記念事業としても実施します。

【寄贈学校】計 5 校

- ・武漢市光谷第九小学
- ・武漢市育才行知小学
- ・武漢市漢陽区玫瑰園小学
- ・武漢市洪山実験外国語学校
- ・武漢市江夏区何堰村小学

【贈呈式】

1. 開催日 2016年10月16日(日)14:00—15:00
2. 開催場所 武漢市光谷第九小学
(住所: 武漢市東湖高新技术開發区区高新大道教育中路 TEL: 027-87945372)
3. 主 催 公益財団法人イオン環境財団
4. 共 催 永旺(中国)投資有限公司、永旺(湖北)商業有限公司
5. 後 援 在中国日本国大使館、武漢市人民政府外事弁公室
6. 主な出席者

在中国日本国大使館	公使	山本 恭司様
武漢市人民政府	副秘書長	董 廣利様
武漢市人民政府外事弁公室	副主任	李 璞様
武漢市江岸区教育局	副局長	黄 運萍様
武漢市東湖高新技术開發区教育局	局長	楊 志霞様
武漢市東湖高新技术開發区投資促進局	副局長	吳 世英様

寄贈先5校代表者及び生徒代表
「日中小大使」(公益財団法人イオン1%クラブ主催事業) 日本・中国高校生 計 40 名

公益財団法人イオン環境財団	専務理事	林 直樹
永旺(湖北)商業有限公司	総経理	椎名 孝夫
永旺夢楽城(湖北)商業管理有限公司	総経理	村上 征典
永旺(中国)投資有限公司	管理総部総経理	近藤 良策

【贈呈式当日の様子】

●贈呈式



寄贈目録の贈呈

左から、江夏区何堰小学の何(か)校長、イオンモール武漢の村上総経理、漢陽区玫瑰園小学の黄(こう)副校長、イオン武漢の椎名総経理、光谷第九小学の邱(きゅう)校長、イオン環境財団の林専務理事、育才行知小学の晏(えん)校長、イオン環境財団の山本事務局長、洪山実験外国語学校の尹(いん)校長、イオン中国の近藤管理総部総経理



イオン環境財団の林専務理事より主催者挨拶



武漢市人民政府の董(とう)副秘書長より来賓挨拶



日本国大使館の山本公使より来賓挨拶



目録の贈呈



武漢市光谷第九小学の邱(きゅう)校長より謝辞



江夏区何堰小学の生徒代表より謝辞



中国学生よりウェルカムの箏演奏



(公財)イオン1%クラブ主催の日中ティーンエイジ・アンバサダー事業の参加学生がパフォーマンス披露



贈呈式の後、全員で集合写真



ステージに設置されたバックステージ



記念写真用横断幕

● 寄贈5校の設置様子

太阳能设备 捐赠学校概况

武汉市江夏区何堰小学



江夏区何堰小学地处武汉市的最南端，处在武汉和咸宁交界的边界区域。隶属于江夏区郑店街道，郑店街道是湖北前500家重点镇乡之一，人口多，底子薄，一直是江夏区最为贫困的“南八乡”之一。全校共计有34名学生，1-3年级，共3个班。

永旺-太阳能设备捐赠学校各项设计参数

学校	建设面积 (平方米)	建设费用 (万元)	建设时间	建设地点	建设内容	建设效果
武汉市江夏区何堰小学	1.2	1000	2008	3000	70.0	100%



太阳能设备 捐赠学校概况

武汉市汉阳区玫瑰园小学



玫瑰园小学创办于1988年，2008年已发展为两大校区——玫瑰园校区和南国明珠校区。自创办以来，学校牢固树立“以启发式教育思想，搭建交往平台，构建和谐校园”的办学理念，秉承“国际视野、阳光心态、艺术气质、文化品味”的育人目标，坚持“礼艺双修、快乐成才”的育人策略，不懈努力，一步一个台阶，综合办学水平跻身于武汉市小学先进行列。特别是2010年5月教学水平通过了武汉市市区级教育特色学校评审。

永旺-太阳能设备捐赠学校各项设计参数

学校	建设面积 (平方米)	建设费用 (万元)	建设时间	建设地点	建设内容	建设效果
武汉市汉阳区玫瑰园小学	12	10000	1000	1000	1000	100%



太阳能设备 捐赠学校概况

武汉市光谷第九小学



武汉市光谷第九小学，地处风景秀丽的东湖开发区出口2路。新校于2010年11月28日开建，2012年5月28日举行落成庆典。校园占地面积30余亩，建筑面积10985平方米。学校绿化率50%以上，是一流布局合理，设施先进，环境优美的现代化小学。2012年，九小与湖北第二师范学院实现共建，学校在办学中秉承二师深厚的文化底蕴，遵循“全能教育”的办学理念，恪守“以体为基，健康第一”的办学理念，面向全体学生，全面实施素质教育，培养学生全面发展能力，关注学生发展的全过程，培养体、德、美、智、创、合、心、生“八能”的合格公民。

永旺-太阳能设备捐赠学校各项设计参数

学校	建设面积 (平方米)	建设费用 (万元)	建设时间	建设地点	建设内容	建设效果
武汉市光谷第九小学	12	10000	1000	1000	1000	100%



太阳能设备 捐赠学校概况

武汉市育才行知小学



武汉市育才行知小学创建于2005年9月，前身为“武汉市育才二小国际部”，2011年9月，正式更名为“武汉市育才行知小学”。是中國第一所命名为“育才行知”的学校。作为武汉市江岸区延伸优质教育链、探索新型办学模式的开拓者，武汉市育才行知小学积极贯彻国家教育改革与发展的政策精神，确立了“培育创造之花，启迪博雅人生”的办学新理念，坚定不移地走改革创新之路，全面实施素质教育，为博大精深的知行知教育思想与理论注入了新的时代元素。学校以“高起点、高质量、高标准”的办学思路，以“特色型、品牌化、高质量”的办学目标，深得社会各界的广泛赞誉，成为湖北省第一所“中国知行研究会实验学校”、“全国校园文化建设实验基地”。

永旺-太阳能设备捐赠学校各项设计参数

学校	建设面积 (平方米)	建设费用 (万元)	建设时间	建设地点	建设内容	建设效果
武汉市育才行知小学	12	10000	1000	1000	1000	100%



太阳能设备 捐赠学校概况

武汉市洪山实验外国语学校



武汉市洪山实验外国语学校是小学、初中于一体的九年一贯制学校。学校始建于2003年，原名武汉外国语学校江南分校。2009年7月转为公办，更名为武汉市洪山实验外国语学校，隶属于洪山区教育局。学校座落在风光旖旎的南湖之滨，占地面积35亩。学校现有教职员工160人，小学至初中九个年级40个班，共有学生1900人。学校以“外语特色立校，人文精神铸魂”为办学理念，以“中华情怀，世界眼光”为人才发展目标，坚持外语办学特色，实行小班教学，突出学生人格的塑造和创新能力的培养，使学生成为人格健全、学历宽厚、具有世界眼光的现代人。

永旺-太阳能设备捐赠学校各项设计参数

学校	建设面积 (平方米)	建设费用 (万元)	建设时间	建设地点	建设内容	建设效果
武汉市洪山实验外国语学校	12	10000	1000	1000	1000	100%





2016.10.21付、楚天都市报_紙面



2016.10.21付、武汉晚报_紙面

※括弧内はチャンネル名(テレビの場合)または版面名(新聞の場合)



2016.10.17付、湖北衛視テレビ(經視直播)



2016.10.18付、武漢テレビ(直播大武漢)



2016.10.21付、楚天金報(教育点津)

2016年12月20日現在



2016.10.17付、新浪湖北Web(新聞頻道)



2016.10.21付、楚天都市报(专版)



2016.10.21付、武汉晨报(时尚·综合)



2016.10.21付、长江日报(文娛新聞)



2016.10.21付、武汉晚报(深度·关注)

「日中交流集中間」に、「イオン北京環境提議」に基づき両国が親交を深めます
第1回「中国北京市密雲植樹」実施<10/15(土)>
武漢市の小中学校へ太陽光発電システムを寄贈<10/16(日)>

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役、以下、当財団）は、10月15日（土）、中華人民共和国（以下、中国）北京市密雲において、3年計画の1回目となる「中国北京市密雲植樹」を実施します。また16日（日）に、武漢市の小中学校5校への太陽光発電システムの贈呈式を行います。

当財団は、世界が直面する環境問題に取り組むとともに、日中のさらなる友好関係の促進のため、1993年から「日中環境国際シンポジウム」を開催しています。昨年9月、当財団設立25周年を迎えたことを機に、北京市で4回目となる同シンポジウムを開催し、総括として北京市人民政府とともに「イオン北京環境提議」を発表しました。同提議では、2016年からの3年間、植樹活動の継続と環境教育のさらなる推進を行うことを合意・発表しました。同提議に基づき、中国北京市密雲植樹と太陽光発電システム寄贈を実施します。

また、本年10月・11月は、在中国日本国大使館が定める「日中交流集中間」であり、北京市と湖北省武漢市にて日中間の交流イベントが実施されます。さらに本年は、広東イオン1号店の開業と、青島イオンの設立から20年の節目の年でもあります。

当財団はこれからも、いのちあふれる美しい地球を次代の子どもたちへ引き継ぐため、環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。

10月15日（土）第1回「中国北京市密雲植樹」

密雲は北京市北東部に位置しており、同市で利用する水量のうち3分の2を供給する、華北地方最大の密雲ダムを有しています。当財団は、同ダムの周辺住民ならびに北京市民の水資源を確保するため、水源涵養機能(※)の向上を目指し、ダム周辺で植樹を行います。本年は日中間のボランティア800名の皆さまとともに、地域に自生する7,500本の苗木を植えます。

(※)水源涵養機能：森林の土壌が降水を貯留し、河川や湖沼に流れ込む水量を平準化して洪水や渇水を防ぐ機能のこと

日時 2016年10月15日（土）9:30～11:30
場所 北京市密雲区東部渠鎮史長峪村
本数 7,500本
参加者 800名
面積 3.0ha
樹種 シロマツ、華山松、コノテガシワ、アカマツ、五角カエデ、牡丹（6種）
主催 公益財団法人イオン環境財団、北京市人民政府外事公室、北京市園林緑化局、北京市密雲区人民政府
後援 在中国日本国大使館、中国国家林業局
協力 北京市園林緑化国際合作項目管理辦公室、北京市密雲区人民政府外事公室、北京市密雲区園林緑化局、北京林学会、在中国イオン各社
出席者 北京市人民政府 副市長 林 克慶 様
(予定) 中国国家林業局国際交流センター 副主任 劉 立軍 様
北京市園林緑化局 副局長 朱 國成 様
在中国日本国大使館 公使 林 栢二 様
公益財団法人イオン環境財団 理事長 岡田 卓也
イオン株式会社 副社長 若生 信弥
永旺（中国）投資有限公司（イオン中国本社） 董事長兼総裁 羽生 有希

10月16日（日）武漢市における太陽光発電システム贈呈式

当財団は、設立20周年の記念事業として、2009年より再生可能エネルギー活用、啓発・普及と環境教育を目的に、日本・マレーシア・ベトナムの中学校へ太陽光発電システムを寄贈してきました。これまでに3カ国で35校に寄贈しています。

このたび「イオン北京環境提議」に基づき、環境教育の推進を願い、武漢市の小中学校5校に寄贈します。

日時 2016年10月16日（日）14:00～15:00
寄贈先 光谷第九小学校、育才行知小学校、漢陽区玫瑰園小学校、洪山実験外語学校、江夏区何家湾小学校
場所 武漢市光谷第九小学校
主催 公益財団法人イオン環境財団
共催 永旺（中国）投資有限公司、永旺（湖北）商業有限公司（イオン湖北）
後援 在中国日本国大使館、武漢市人民政府外事公室
出席者 武漢東湖高新區 書記 胡 立山 様
(予定) 武漢市人民政府外事公室 主任 安 衛東 様
寄贈先5校校長および生徒代表者
本年「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー事業」に参加する日中の高校生
公益財団法人イオン環境財団 専務理事 林 直樹
永旺（湖北）商業有限公司 総経理 椎名 孝夫
永旺夢楽城（湖北）商業管理有限公司（イオンモール湖北） 総経理 村上 征典

2016.10.7付、イオン環境財団ニュースリリース_1ページ目

【参考】

【中国における公益財団法人イオン環境財団の活動について】
＜植樹活動＞

■1998年～2010年「万里の長城・森の再生プロジェクト」
「日中環境国際シンポジウム」での提案をきっかけに、当財団は1998年から「万里の長城・森の再生プロジェクト」を開始しました。継続的な植樹活動を通じて累計約15,000人の日中ボランティアの方々のご協力のもと、2010年には植樹本数が100万本を超えました。その後、2013年には育樹活動として、木々のメンテナンスなどを行っています。



■2005年～2007年「青島市ラオ山ダム植樹」

青島市にあるラオ山ダムは、黄河から水を引き、長く同市の水源として利用されています。同ダムがその役割を終えたことに伴い、青島イオンが青島市政府から要請を受け、同ダムを市民の憩いの場とするため、青島市城陽区人民政府とともに植樹を行いました。3,493名の日中間のボランティアの方々が、クロマツ、マルバハゼ、カエデ等30,000本の苗木を植えました。

■2008～2011年「山東省烟台植樹」山東省威海市植樹

青島イオンは2008年7月、烟台で3号店をオープンしました。それを機に烟台市から要請を受け、近郊の牟安河の水源地帯の育成を目指して植樹を行いました。日中間のボランティアの方々が2,519名が25,000本を植えるとともに、市民同士での日中友好を深めました。また同時に威海市において、日中国間のボランティアの方々が1,400名が12,000本を植えました。



■2014年「蘇州市植樹」

蘇州市が擁する中国第三の大きさを誇る太湖（太湖）周辺は護岸工事などの開発により環境破壊が進んでいましたが、同市による生態系の修復および環境再生のスキームが進行中です。当財団はその計画に賛同し、930名のボランティアの方々と湖岸の堤立で植樹に30,000本の植樹を行いました。東山園有権であり他の地域では見られない柑橘系果樹の植樹や育樹を実施し、地域の環境意識の向上を願うとともに、東山園の古い町並みや文化を保護し後世へ残します。



＜環境教育＞

■アジア学生交流環境フォーラム

当財団は2012年より、グローバルな視野で活躍する環境分野の人材育成を目的に、アジアの大学生を対象に「アジア学生交流環境フォーラム（Asian Students Environment Platform: ASEP）」を毎年実施しています。中国では2014年に開催し、清華大学（中国）、早稲田大学（日本）、高麗大学校（韓国）、マラヤ大学（マレーシア）、ベトナム国家大学ハノイ校（ベトナム）の5カ国80名が参加しました。教育プログラムは清華大学修部、早稲田大学協力によるもので、「水と人」をテーマに、北京、天津、内モンゴル、成都などでフィールドワークを実施し、生物多様性について考察を深めました。「ASEP」には2016年の第5回（日本開催）までに7カ国375名の大学生が参加しています。



【武漢市政府からの表彰について】

当財団の理事長 岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）は2015年、武漢市国際新聞顧問員として武漢市の発展に尽力していることを認められ、武漢市政府から「異域友誼賞」を授けました。

2016.10.7付、イオン環境財団ニュースリリース_2ページ目

【「日中環境国際シンポジウム」について】

当財団は、地球環境の保全が世代と国境を超えた課題であることを念み、日中のさらなる国際協力を促進するため、1993年から4回にわたり「日中環境国際シンポジウム」を開催しています。

・第1回（1993年）：テーマ「環境問題と人間社会」
「地球の未来を守るために」という共通視点のもと国際協力を促進するため、全体会議および分科会において活発な討論が行われました。海部俊樹元首相が出席されたこの回では、民間レベルにおける環境協力についての大枠的方針が定められるとともに、シンポジウムの継続的な開催が合意されました。



・第2回（1995年）：テーマ「環境問題と人間社会」
熊本市での事前現地調査を討論資料とし、特に大気汚染対策に絞って両国の環境協力推進を合意しました。また、廣中和歌子元環境庁長官が出席され、都市の経済発展に伴う環境問題と環境保全の技術、環境法などについて討論が交わされました。本シンポジウム内で、環境保全の必要性と事業性を世界に向けて発信するため、「万里の長城・森の再生プロジェクト」が提案されました。



・第3回（1997年）：テーマ「環境問題と人間社会」
海部俊樹元首相が出席され、経済社会の持続的発展に向けて、エネルギー対策と環境保全、水資源及び水環境の確保、経済、社会及び環境が調和する発展戦略について議論されました。また、本シンポジウムを契機に「万里の長城・森の再生プロジェクト」の準備が始まりました。



・第4回（2015年）：テーマ「国際社会における環境改善と社会の持続的発展」
グローバルに活躍する両国の専門家・有識者が一堂に会し、環境改善と社会の持続的発展についての討論が交わされました。また、本シンポジウムの総括として、世界に向けてイオン北京環境提議を発表しました。

【イオン北京環境提議】

2016年～2018年の3年間で、下記に取り組むことを表明

1. 新たな植樹活動の取組みを通じた日中ボランティアの交流
2. 日中青少年環境教育活動を協同で取り組む環境保全に関する交流の促進

【「日中交流集中間」について】

本年10月・11月は、在中国日本国大使館が定める「日中交流集中間」です。北京市と湖北省武漢市において、中国政府関連機関、日本政府関連機関、民間企業等による数々の日中間の交流イベントが実施されます。イオンは日中のさらなる親交の促進を願い、同月間に合わせてさまざまな取り組みを行います。

■「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー（高校生交流）事業」（公益財団法人イオンワンパースントクラブ）
公益財団法人イオンワンパースントクラブは、「諸外国との友好親善の促進」を事業目的の一つとして掲げ、中国と日本の高校生が交流する「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー（高校生交流）事業」を実施しています。本年7月、北京市、武漢市、青島市から計70名の高校生が来日し、日本の高校生70名と親交を深めました。「日中交流集中間」にあたる10月9日（日）～17日（月）、日本の高校生70名が同3市を訪れ、中国の高校生と再会し友情をいっそう深めます。

10月15日（土）の「中国北京市密雲植樹」には、北京市で交流中の日中の高校生計80名が、翌16日（日）の武漢市の小中学校への太陽光発電システムの寄贈式には、武漢市で交流中の高校生計40名が参加する予定です。

【「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー」について】

期 間：2016年10月9日（日）～17日（月）

訪問都市：北京市、武漢市、青島市

参加者：中国（北京市、武漢市、青島市）の高校生 計70名

日本（東京都、千葉県、大分県、北海道）の高校生 計70名

以上

2016.10.7付、イオン環境財団ニュースリリース_3ページ目

2016.10.7付、イオン環境財団ニュースリリース_4ページ目



10月16日に贈呈式を行った光谷第九小学校の太陽光発電システム

太陽と緑の恵みを未来につなぐ。 環境保全活動で深める日中友好。

中国、北京市密雲で新たに3カ年計画の植樹を開始。
武漢市の小中学校に太陽光発電システムを寄贈しました。

〈公財〉イオン環境財団は、昨年9月に北京市人民政府と共同で発表した「イオン北京環境支援」に基づき、2016年から2018年まで、植樹活動の継続と環境教育の推進に取り組んでいます。3カ年計画の1年目として10月15日に実施した「中国北京市密雲植樹」では、両国のボランティアの皆さん800名が3ヘクタールの土地に7,500本を植樹。翌16日は、武漢市の小中学校5校に太陽光発電システムを寄贈しました。環境に優しい再生可能エネルギーの利用を通じて、子どもたちが環境について学ぶ機会に役立てていただきます。また、今回の植樹活動や太陽光発電システムの贈呈式には、〈公財〉イオンワンパーセントクラブが10月9日から17日まで実施した「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー」に参加中の高校生も加わり、日本と中国をつなぐ“小大使”として交流を深めました。イオンはこれからも、美しい地球を未来へ引き継ぐため、世代や国境を越えた環境保全活動を推進してまいります。



10月15日の第1回「中国北京市密雲植樹」

CLOSE

https://www.aeon.info/company/library/hotpress_backnumbers/538/index.html

1/1

2016.11.23付(揭示開始)、イオン株式会社ホットプレス

以上